

デュエマ BanG Dream!

穂乃果ちゃん推し

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

小さな頃に満天の星空を見上げた戸山香澄は、星の鼓動を聞いたと言う……。そんな少女の夢は『キラキラドキドキする事』！

世間では『デュエル・マスターズ』通称「デュエマ」が浸透して、何処でも楽しめるデバイス『RDM S（リアルデュエマシステム）』によって、活性化していた！

そんな世の中で、高校生となった彼女の下に、一通の手紙と共に謎のデッキが送られて来る！果たして…彼女を待ち受ける壮大な運命とは！

目次

# 1.	「始めちやった！」	1
# 2.	「戦っちやった！」	6
# 3.	「ぶつかっちやった！」	15
# 4.	「驚いちやった！」	19

#1. 「始めちやった！」

??side「9年前」【ある丘にて】

? 「早くおいでよ！」

? 「待つて、お姉ちゃん！」

私は妹が止めるのもお構い無しに、暗い森の中を掻き分けて進んで行った。そして……そこを抜けた先には！

? 「うわぁー……綺麗……」

? 「ホントだね……」

? 「……! あっちゃんあっちゃん！」

? 「どうしたの？」

? 「私……鼓動が聞こえた気がする！」

私は思った事を正直に妹に言う。すると、妹は呆れた視線を送りながら……『お姉ちゃん、何かの間違いじゃないの?』と言ってきたが。ともかく……私は確かに聞いたのだ、満天の星空に浮かぶ星たちの……星の鼓動が！

――――
【現在】【戸山家：香澄の部屋】

私、戸山香澄！今日から新しく『花咲川女子学園』って言う学校に入学する新入生！待ちきれなくて、早起きしちやった！

香澄 「んー……よし！」

私は制服をキッチンと整えると、直ぐ様自分の部屋から出て、ある部屋へと向かいました！

【明日香の部屋】

明日香 「……んんっ」

忍び足で妹の部屋に入ると、規則正しい寝息を立てている妹が居た。……ふっふっふ、明日香がそうなら、お姉ちゃんに考えがあるよ？

香澄「にしし……えいつ！」

明日香「うわっ！お姉ちゃん!？」

香澄「おつきろー！朝だぞー！」

明日香「起きてるってば！」

いきなり起こされた明日香の言葉を受けて、私は妹から離れる。

香澄「なーに、呑気に寝てるの！入学式だよ、入学式！」

明日香「あつそ。おやすみ〜」

香澄「えええ!?!一緒に学校行こうよ〜！」

明日香「ふわああああ……私は今日まで春休みだよ？」

香澄「そつかあー……いつてきまーす！」

そう言っただけで私は家を飛び出して行く。もちろん、朝ご飯を食べる事は忘れなかったが。

—————

【花咲川女子学園・校門前】

香澄「今日から……ここに通うんだ！楽しみだなあ〜」

？「どうかしましたか？」

香澄「あ！貴方も1年生？」

私に声をかけて来た、栗色の髪をウェーブにしてポニーテールで纏めている女の子はこう答えました。

？「そうだよ。私は山吹 沙綾、よろしく」

香澄「私、戸山香澄！よろしくね、さーや！」

沙綾「戸山さん……か。よろしく」

そう言っただけ私達は学校の中へと、入って行きました！後にさーやからこの学校の事について聞いたんだけど、この学校は中高一貫校なの！……暫く校舎を回り、入学式を迎えたんだけど、その時の総代挨拶で……ある事が……。

先生『新入生総代挨拶……代表、市ヶ谷有咲。……市ヶ谷？市ヶ谷！』

香澄「(どうしたの?)」

沙綾「(市ヶ谷さんは、成績優秀なんだけど……出席日数稼ぎの為に、学校に来てるって人なんだ)」

香澄「(へえー)」

その後、私たちは新クラスの教室に入り、簡単なホームルームと自己紹介を行なった！……そしてその帰りに、奇妙な出来事がある！

香澄「さてと、帰ろう……ん？何、これ？」

沙綾「どうしたの？」

香澄「これが靴箱の中に入ってる……」

私がさーやに入っていた物を見せると、怪しげな物を見るかのような視線で見始めました。

沙綾「差出人は不明……そして謎のデツキ、か。」

香澄「さーやく……どうしよう」

沙綾「まあ……突っ返すのも悪いし、取り敢えず行ってみたら？その……『RED SPEED』ってお店に」

香澄「うーん……分かった」

そう言っただけ沙綾とは校門のところまで、別々の道を進みました。そして私は暫く歩き、目的の場所である『RED SPEED』というお

店に辿り着きました。

『カードショップ『RED SPEED』』

店員「いらっしやいませー」

私は中に入りました。するとそこには、私が見た事の無いカード達が所狭しとショーケースに並べられていました。

香澄「来たはいいけど……どうしよ？」

店員「どうかした？」

香澄「うひゃあ！」

店員「ありやりや……驚かせちゃった？デユエマしに来たの？」

人当たりの良さそうな笑みを浮かべて、私を見てくる男性がそう聞きました。私はそれにこう返しました。

香澄「靴箱を見たら、いきなり……」

店員「く、靴箱!?……そりやあまた珍しい」

香澄「このカード、届けたいんですけど……ここに来れば、何とかなるかなって」

店員「……じゃあさ、預かってたら？その人が見つけた時、ちゃんと返せるように」

香澄「そうですね。ありがとうございます……あ、自己紹介が遅れました！私、戸山香澄です！」

私名前を名乗った時、それを見た店員さんは私の目を見てこう答えました。

店員「じゃあ……僕も自己紹介しようかな。僕は盛谷 颯樹と言います。花咲川高等学校って言う、共学の高校に通っている2年生です」

香澄「よろしくお願いします！……ところで、盛谷先輩はどうして此処に？」

颯樹「敬語じゃなくて良いよ。僕はここでバイトしてるんだ。香澄ちゃん、初心者みたいだから……僕がデュエマの事を教えてあげるよ」

香澄「良いの!?!」

なんと、颯樹くんは私にデュエマを教えてくれる事に！ヤッター！やるからには、絶対に勝ちたい！よろしくお願いします！

#2. 「戦っちゃった！」

【カードショップ『RED SPEED』】

颯樹「それじゃあ……始めて行こうか」

香澄「うん！よろしくね！」

颯樹「まず1つ聞くけど、ルールは知ってる？」

颯樹くんは私に質問をして来ました！デュエマのルールに関してだったので、それは知っていました！

香澄「妹がやっている所を見て、覚えたよ！」

颯樹「分かった……じゃつ、本気で行くよ」

香澄「うん！」

—————

颯樹「シールド展開」

颯樹のシールド0↓5

香澄「シールド展開！」

香澄のシールド0↓5

私と颯樹くんはデッキの上から5枚をシールドとして置きました！さらに上から5枚を手札に加え、準備を終えました！

颯樹「それじゃあ……始めるよ！」

香澄「よろしくね！」

颯樹／香澄『デュエマ……スタート！』

そう宣言した瞬間、仮想空間に立っている私の周りに風が吹き始めました！それは颯樹くんも同じ事で、涼しい顔をして立っていました！

【TURN1】〔PL：香澄〕

香澄「私の先攻だよ！手札から1枚をマナチャージ！1マナを使っ

て……へ凶戦士 ブレイズクロウを召喚！」

香澄の手札5↓4↓3／mana0↓1↓0

—————

凶戦士 ブレイズクロウ

【文明】火文明

【種族】ドラゴノイド

【manaコスト】1 【パワー】1000

■このクリーチャーは、可能なら毎ターン攻撃する。

—————

香澄「私はこれでターンエンド」

香澄の手札3／mana0／使用mana1／シールド5

—————

【TURN2】〔PL：颯樹〕

颯樹「僕のターン！ドロウ、manaチャージ！僕も1manaを使ってへ凶

戦士 ブレイズクロウを召喚！」

颯樹の手札5↓6↓5↓4／mana0↓1↓0

香澄「(颯樹くんも私と同じ【火文明】……)」

颯樹「僕はここでターンエンド」

颯樹の手札4／mana0／使用mana1／シールド5

—————

【TURN3】〔PL：香澄〕

香澄「私のターン！ドロウ、manaチャージ！2manaを使ってへ一撃

奪取 トップギアを召喚！」

香澄の手札3↓4↓3↓2／mana0↓1↓2↓0

—————

一撃奪取 トップギア

【文明】火文明

【種族】アウトレイジ

【manaコスト】2 【パワー】1000

■各ターン、自分の火のクリーチャー1体目の召喚コストを1少なくしてもよい。ただし、コストは0以下にならない。

—————
香澄「行つくよー！ブレイズクローで……真ん中のシールドをブレイク！」

颯樹「ぐうっ！」

颯樹の手札 4 ↓ 5 / シールド 5 ↓ 4

颯樹くんは捲ったカードを確認します。……どうかな？出来れば、トリガーだけは来て欲しくない！

颯樹「……トリガーなし」

香澄「私はこれでターンエンド！」

香澄の手札 2 / マナ 0 / 使用マナ 2 / シールド 5

—————
【TURN 4】〔PL：颯樹〕

颯樹「僕のターン！ドロ、マナチャージ！僕も2マナを使ってへー撃奪取 トップギア」を召喚！そして……ブレイズクローで左端のシールドをブレイク！」

颯樹の手札 5 ↓ 6 ↓ 5 ↓ 4 / マナ 0 ↓ 2 ↓ 0

香澄「ううっ……。トリガーは……無い」

香澄の手札 2 ↓ 3 / シールド 5 ↓ 4

颯樹「これで僕はターンエンド」

颯樹の手札 4 / マナ 0 / 使用マナ 2 / シールド 4

—————
【TURN 5】〔PL：香澄〕

香澄「私のターン！ドロ、マナチャージ！……えと、これで良いのかな？」

香澄の手札 3 ↓ 4 ↓ 3 / マナ 0 ↓ 2 ↓ 3

颯樹「んん？」

香澄「トップギアの効果で、火のクリーチャー1体目の召喚コストを1減らす……よって、3マナを使ってへ凶戦士 ブレイズクロー」から【進化】！へ鳳凰 マツハギア」!!!」

香澄の手札3↓2／マナ3↓0

本来使用するはずだったマナ：4

颯樹「ちよつとちよつと……初心者で、ここまでできる娘は早々いないよ!?!」

—————

鳳凰 マツハギア

【文明】 火文明

【種族】 ファイアー・バード炎

【マナコスト】 4 【パワー】 6000

■進化—自分の火のクリーチャー1体の上に置く。

■このクリーチャーをバトルゾーンに出した時、相手のコスト4以下のクリーチャーを1体破壊する。

■W・ブレイカー

—————

香澄「マツハギアの効果で、相手のコスト4以下のクリーチャー……トツプギアを破壊!」

一撃奪取 トツプギア（颯樹side）【破壊】!!!

香澄「マツハギアで両サイドのシールドをブレイク!……こういう時は、こう言うんだよね?」

颯樹「ちよつとちよつと……僕って、とんでもない娘を相手にしてる!?!」

香澄「W・ブレイク!」

颯樹「ぐうっ!……よし!1枚に反応あり!」

颯樹の手札4↓5／シールド4↓2

香澄「!?!」

颯樹「シールドトリガー……発動!〈音速 タルボ〉をバトルゾーンに!」

—————

音速 タルボ

【文明】火文明

【種族】ソニック・コマンド／侵略者

【manaコスト】5 【パワー】5000

■S・トリガー

■このクリーチャーは、可能なら毎ターン攻撃する。

香澄「まだまだく！トップギアでシールドをブレイク！矛先は……
右！」

颯樹「発動！シールド・トリガー……へめつた切り・スクラッパー
!!!」

颯樹のシールド2↓1

めつた切り・スクラッパー

【文明】火文明

【manaコスト】7 【種類】呪文

■S・トリガー

■相手のクリーチャーを、コストの合計が6以下になるように好きな数選び、破壊する。

颯樹「マツハギアとトップギアを破壊！」

鳳凰 マツハギア【破壊】!!!

一撃奪取 トップギア【破壊】!!!

香澄「タ、ターンエンド……」

香澄の手札2／mana0／使用mana3／シールド4

【TURN6】〔PL：颯樹〕

颯樹「やってくれたね……？此処からは、僕はトマラナイヨ？イグ
ニッション……！」

香澄「颯樹くん？」

颯樹「俺のターン！ドロー、マナチャージ！……待ってたぜ！」
颯樹の手札 5 ↓ 6 ↓ 5 / マナ 0 ↓ 2 ↓ 3

颯樹くんから放たれる、まだ見ぬ威圧感を感じた私は、思わず身震いをしてしまいました！そんな私の気も知らず、颯樹くんは続けます！

颯樹「行くぜ……タルボで攻撃！この時……〈侵略〉発動！」

香澄「〈侵略〉!?!」

颯樹「自分のクリーチャーが攻撃した時、条件を満たしているなら使える能力……それが〈侵略〉！タルボから【進化】……〈轟く侵略レッドゾーン〉!!!」

颯樹の手札 5 ↓ 4

—————

轟く侵略 レッドゾーン

【文明】 火文明

【種族】 ソニック・コマンド／侵略者

【マナコスト】 6 【パワー】 12000

■進化—自分の火のクリーチャー1体の上に置く。

■侵略—火のコマンド（自分の火のコマンドが攻撃する時、自分の手札にあるこのクリーチャーをその上に重ねてもよい）

■T・ブレイカー

■このクリーチャーがバトルゾーンに出た時、一番パワーが大きい相手のクリーチャーをすべて破壊する。

—————

香澄「これが〈侵略〉……」

颯樹「行くぞ！レッドゾーンで左から3枚のシールドをブレイク！

……T・ブレイク！」

香澄「きやああああ！」

香澄の手札 2 ↓ 5 / シールド 4 ↓ 1

颯樹「……トリガーは無かったか。なら、ブレイズクロードで香澄

ちゃんに攻撃！」

香澄「うっ！……シールド・トリガー、発動！へピアラ・ハート」を
バトルゾーンに！」

香澄のシールド1↓0

—————

ピアラ・ハート

【文明】 火文明

【種族】 ファイアー・バード

【manaコスト】 3 【パワー】 1000

■S・トリガー

■このクリーチャーがバトルゾーンに出た時、相手のパワー1000
0以下のクリーチャーを1体、破壊する。

—————

香澄「登場時効果で、パワー1000以下のクリーチャー……ブレ
イズクローを破壊！」

凶戦士 ブレイズクロー【破壊】!!!

颯樹「くっ……ターンエンド」

颯樹の手札4／mana3／使用mana0／シールド1

—————

【TURN7】 [PL:香澄]

香澄「私のターン！ドロ、manaチャージ！（私は少なくとも……
このターン中、2回は攻撃しないと行けない。でも相手には〈侵略〉の
効果を持つクリーチャーがいる……どうしよう……）」

香澄の手札5↓6↓5／mana0↓3↓4

私は何か出来ないかと、手札を見ていました！……すると目に飛び
込んで来たのは……！

香澄「（このカードに任せてみよう！）3manaを使って〈鬼切丸〉を

召喚！」

香澄の手札5↓4／マナ4↓1

—————

鬼切丸

【文明】火文明

【種族】ヒューマノイド／アンノイズ

【マナコスト】3 【パワー】1000+

■自分のマナゾーンのカードがすべて火かまたは無色であれば、このクリーチャーのパワー+3000し、「スピードアタッカー」を与える。

—————

香澄「行くよ！ピアラ・ハートで最後のシールドをブレイク！」

颯樹「……トリガーなし」

颯樹の手札4↓5／シールド1↓0

香澄「えつと……能力で「スピードアタッカー」を得ている、鬼切

丸でダイレクトアタック！」

颯樹「……完敗だよ」

ゲームエンド！WINNER：戸山香澄！

—————

仮想空間から開放された私達は、デツキを纏めていました。

颯樹「どうだった？」

香澄「すつごく楽しかった！またやろう!?!」

颯樹「いいよ。こっちは何時でもイイよ……その際は負けないよ」

香澄「うん！」

そうやって私は立ち去る事にしました！これ以上遅くなったら、あっちゃんもお母さんもお父さんも心配するからね。と、その時……
颯樹くんが呼び止めました！

颯樹「ちよつと待った！」

香澄「どうしたの？」

颯樹「……良ければさ、連絡先交換しない？ほら、友達になった記念に」

香澄「うん！これからもよろしくね！」

そう言つて私たちは、互いの連絡先を交換しました。……そして帰った後、妹に案の定心配されましたが、真っ赤な顔を見るなり、母の元へと駆け出して行きました。

【香澄の部屋】

香澄「颯樹くん……か。カツコよかったな……／／……今度は私から誘つてみようかな？」

部屋に入るなり、枕に顔を埋めて足をバタバタさせていた私は、明日香が呼びに来るまで、しばらくの間顔の紅潮が治まりませんでした。

#3. 「ぶつかつちやつた!」

【花咲川女子学園 1-A教室】〔沙綾side〕

香澄 「でねでね、さーやくー!」

沙綾 「へえ、その人にデュエマの相手してもらったんだ。良かったじゃん」

翌日になって、あたしは戸山さんの止まる事の無いマシンガントークを唯々聞いていた。それだけ昨日の事が嬉しかったんだね…羨ましいな。

キーンコーンカーンコーン!!

そう思っている間に、授業開始を告げるチャイムが鳴り、あたしたちは自分たちの席へと着いた。……よし、気持ちを切り替えて行こう!

〔沙綾side out〕

〔香澄side〕

暫く授業を受けて、時間はお昼休み〜!今日はどこで食べよっかな〜……と歩いていると、少し先に黙々とパンを食べている女の子を見つけました!……あの娘は確か!

香澄 「りみり〜ん!」

りみ 「ひゃあ!か、香澄ちゃん?」

香澄 「りみりん、一緒にお昼食べよ〜!」

りみ 「うん!」

りみりんの承諾を得て、私とりみりんは中庭でお昼ご飯を食べ始めました!はあく楽しいな〜!

りみ 「香澄ちゃん、嬉しそう……何か良い事あったの?」

香澄 「あ、分かる!?実は私、デュエマ始めたんだ〜」

りみ「そうなんだあ……ウチもやってんねん！……ひゃあ！ま、また出ちやった……」

香澄「そうなの!?……だったらさ、放課後になったらカードショップに行かない？」

りみ「い、良いの!？」

香澄「うん！ぜひ行こうよ！」

と、私はりみりんを誘う事に成功しました！……また、颯樹くんに会えるかな？

――――
〔放課後〕

香澄「それじゃあ、行こう！」

りみ「うん！」

? 「これから……何処に行くの?」

途中から声を掛けて来たのは、あつちゃんと同じ部活の先輩で……りみりんのお姉ちゃんである牛込ゆり先輩！りみりんは私から誘われた後、ゆり先輩の所に行ってみたいで。

香澄「はいっ！私とりみりで、近くのカードショップに行こうかと！」

ゆり「なるほど……面白そうね。私も行きたいのは山々なんだけど、部活があるから……りみをお願いね、戸山さん」

香澄「分かりました！行くよ、りみりん！」

りみ「うん！……行ってきます、お姉ちゃん！」

そうやって私とりみりんは『RED SPEED』へと続く道を走り始めました！よし！今日もやるぞ〜！

――――
〔カードショップ『RED SPEED』〕

りみ「大きいねえ〜……」

香澄「大丈夫だよつ、りみりん！中にいる人は優しいから！……こんにちは〜！」

私はそう言ったりりみりんを連れて、カードショップの中へと入って行きました。すると、そこには颯樹くんともう1人居ました！

颯樹「いらっしやい」

？「こんにちは」

香澄「こんにちは、颯樹くん！……えと、その人は？どう言う関係？」

私がそう言うと、私の目の前に座っている、金色の髪をロングスタイルで卸している女性は、自己紹介を始めました！

？「私は淀川 碧月と言います。よろしくお願いしますね、戸山

香澄さん」

香澄「な、何故……私の名前を？」

碧月「貴女の名前は颯樹くんから聞き及んでいますわ。なんでも『初陣で善戦した女子校生』だとか」

香澄「い、いやあくそれほどでも〜／＼／」

碧月さんから褒められたのが嬉しかったのか、私は照れ隠しに後頭部を掻きました。そして、碧月さんはりみりに目を向けました。

碧月「その貴女、名前は？」

りみ「は、はい！う、牛込……りみ……です」

碧月「りみさん……ですね？よろしくお願いします」

りみ「よ、よろしくお願いします……」

りみりんが自己紹介を終えた後、颯樹くんが本題を切り出しました。

颯樹「そう言えば……2人はデュエマしに来たの？」

香澄「うん！」

りみ「そう…です」

颯樹「僕と香澄ちゃんとは昨日戦ったから……碧月ちゃん、りみちゃんをお願いできる？」

碧月「分かりましたわ。任せられたからには、全力を以てお相手いたしますわ」

りみ「よ、よろしく願いします！」

こうして……碧月さんとりみりんのデュエマが行われる事に！
しっかりとその目に焼き付けないと！

【仮想空間内：教会】

碧月「シールド展開ですわ」

碧月のシールド0↓5

りみ「し、シールド展開！」

りみのシールド0↓5

そしてお互いにデッキの上から5枚を手札に加え、準備が整いました！そして、2人は向かい合いました！

碧月「参りますわよ？」

りみ「は、はい！」

碧月／りみ『デュエマ、スタート！』

#4. 「驚いちやつた!」

【途中経過】

りみの手札5 / シールド5 《先攻》

碧月の手札5 / シールド5 《後攻》

【TURN1】 [PL:りみ]

りみ「わ、私のターン! マナチャージ! ……ターンエンド、です」
りみの手札5 ↓ 4 / マナ0 ↓ 1 / シールド5

【TURN2】 [PL:碧月]

碧月「私のターンですわ。ドロ、マナチャージ!」
碧月の手札5 ↓ 6 ↓ 5 / マナ0 ↓ 1

碧月 (マナゾーンのカードを見る限り……りみさんの使用戦略は《アウトレイジ》。墓地は自然と増えますから、今後の動向に目を向ければ良いですわね)

碧月「ターンエンドですわ♪」

碧月の手札5 / マナ1 / シールド5

【TURN3】 [PL:りみ]

りみ「私のターン! ドロ、マナチャージ! ……2マナを使って
《スリリング潜航する穿孔 ギーガ》を召喚!」

りみの手札4 ↓ 5 ↓ 4 ↓ 3 / マナ1 ↓ 2 ↓ 0

ギーガ『任せな、嬢ちゃん。俺のドリルで、道を拓いてやるからよ』

潜航する穿孔 ギーガ

【文明】 水文明 【種族】 アウトレイジ

【マナコスト】 2 【パワー】 1000

■このクリーチャーは、ブロックされない。

りみ「続けて……私の場に《アウトレイジ》がいるので〈G・ゼロ〉

発動！〈無重力^{ゼロゼロ} ナイン〉を召喚！

りみの手札3↓2

無重力 ナイン

【文明】火文明【種族】アウトレイジMAX

【マナコスト】3【パワー】1000

■G・ゼロバトルゾーンに自分のアウトレイジがあれば、このクリチャーをコストを支払わずに召喚してもよい。

—————

りみ「私はこれでターンエンド」

りみの手札2／マナ0／使用マナ2／シールド5

—————

【一方……】

颯樹「ふうむ……りみちゃんは《アウトレイジ》かくなかなか意外だね」

香澄「私も！……ねえ颯樹くん」

颯樹「ん？どうかした？」

—————

【TURN4】〔PL：碧月〕

碧月「私のターンですわ♪ドロ、マナチャージ！……私も2マナを使って〈浮魂^{うこん} ターメリック〉をバトルゾーンへ！」

碧月の手札5↓6↓5↓4／マナ1↓2↓0

—————

浮魂 ターメリック

【文明】光文明／闇文明【種族】オラクル

【マナコスト】2【パワー】3000+

■マナゾーンに置く時、このカードはタップして置く。

■ブロッカー

■このクリチャーは、相手プレイヤーを攻撃できない。

■ブロック中、このクリチャーのパワーは+2000される。

—————

碧月「私はこれでターンエンドですわ♪……次からが本領発揮ですわ」

碧月の手札4／mana0／使用mana2／シールド5

—————

【TURN5】〔PL：りみ〕

りみ「私のターン！ドロー、manaチャージ！3manaを使って
アカシック・フォース
〈虚空の力 レールガン〉を召喚！」

りみの手札2↓3↓2↓1／mana2↓3↓0

—————

虚空の力 レールガン

【文明】火文明／水文明 【種族】アウトレイジ

【manaコスト】3 【パワー】6000

■manaゾーンに置く時、このカードはタップして置く。

—————

りみ「まずは……ギガでシールドを攻撃！」

ギガ『オオラアアア！』

碧月「うっ……！……シールドトリガー発動！へグローリー・スノー！！」

碧月のシールド5↓4

—————

グローリー・スノー

【文明】光文明

【manaコスト】4 【種類】呪文

■S・トリガー

■相手のmanaゾーンにあるカードの数が自分のより多い場合、自分の山札の上から2枚を、自分のmanaゾーンに置く。

—————

碧月「相手のmanaが私より多いので、山札の上から2枚を、manaゾーンに追加します！」

碧月のmana0↓2／使用mana2

りみ「残ったナインでシールドを攻撃！」

碧月「ターメリックでブロック！この時、ターメリックのパワーを
+2000！」

無重力 ナイン【撃破】!!!

りみ「……タ、ターンエンド」

りみの手札1／mana0／使用mana3／シールド5

—————

【TURN6】〔PL：碧月〕

碧月「1枚割られた所で、どうと言う事ありませんわ。私のター
ンですわ！ドロロー、manaチャージ！5manaを使ってへ策士のイザナイ
ゾロスターを召喚！」

碧月の手札4↓5↓4↓3／mana4↓5↓0

ゾロスター『我が名はへ策士のイザナイ ゾロスター……主であ
る碧月の為、勝利を届ける事をお約束します』

—————

策士のイザナイ ゾロスター

【文明】光文明／闇文明【種族】オラクル

【manaコスト】5【パワー】2000

■manaゾーンに置く時、このカードはタップして置く。

■自分のターンの終わりに、自分の他のタップされているクリー
チャー1体を破壊してもよい。破壊した場合、次のいずれかひとつを
選ぶ。

▶自分の山札を見る。その中から、コスト7以下の無色クリー
チャーを1体選び、バトルゾーンに出してもよい。その後、山札を
シャッフルする。

▶コスト7以下の無色クリーチャーを1体選び、自分の手札からバ
トルゾーンに出してもよい。

—————

碧月「バトルですわ！ターメリックでギীগに攻撃します！」

潜航する穿孔 ギーガ【撃破】!!!

りみ「ギーガ!」

碧月「ターンエンド……する時にへ策士のイザナイ ゾロスター」の効果が発動しますわ!」

りみ「ええ!」

—————

香澄「そんな効果があるの!?!」

颯樹「基本的に《オラクル》の一部のクリーチャーが名に持つ「イザナイ」と言うのは、自らの格上の存在である、無色クリーチャーを呼び出す為の『鍵』を担ってるんだ」

香澄「へ、へえ」

—————

碧月「私はタップされているへ浮魂 ターメリック」を破壊して、デッキからコスト7以下の無色クリーチャーであるへ妖精左神 パールジャム」をバトルゾーンに出しますわ!」

浮魂 ターメリック【破壊】!!!

パールジャム『ウフフ……』

—————

妖精左神 パールジャム

【文明】ゼロ文明

【種族】ゴッド・ノヴァ／スノーフェアリー

【manaコスト】6 【パワー】6000+

■このクリーチャーをバトルゾーンに出した時、またはこのクリーチャーがゴッドとリンクした時、自分の山札の上から1枚をmanaゾーンに置く。

■W・ブレイカー

レフト

■左・G・リンク

■このクリーチャーがリンクしている間、このクリーチャーはシールドをさらに1枚ブレイクする。

「……………」

りみ「み、見てるだけで……凄く、威圧感が……のしかかって来る……………」

碧月「パールジャムの登場時効果で、私の山札の上から1枚をマナゾーンに置きますわ。改めて、私はこれでターンエンドですわ♪」

碧月の手札3／マナ0↓1／使用マナ5／シールド4